

19. 野田小学校PTAへの「魅力ある学校づくり構想」の説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成28年（2016年）5月28日（土）11時30分～

○場 所：野田小学校 体育館

質問・意見等	豊中市からの回答
構想案1の学校にはプールが1つしかなく、小・中学校が授業を受けられるのが心配である。また、屋上に整備しようとしているが、防水工事などのコストがかかる。財政状況が厳しい折にいかがなものか。また、六中敷地の運動場を見てもサッカーコートが1面とれるようには思えない。部活動の面で心配である。	この資料にお示した校舎等の配置図はあくまで一例であり、このようになると決まったものではありません。屋上プールは大池小学校でも整備しており、可動式の床で水位調整ができます。運動場も、この配置例では8,000㎡程度確保できると考えています。計画が固まれば、新しい学校の整備に向けて設計に入っていきますが、そのときに皆さんの意見も聞きながら検討していきたいと考えています。また、部活動の練習等を学校跡地で行うことも考えられます。
私は何年か前からこの学校再編の話を聞いているが、今日初めて聞く方もおられる中で、なかなか意見、質問と言われても難しいと思う。市が説明していることは、子どもの数が減っている中で何とか手を打たなあかん、でも細かいところは何も決まっていけない。わかりやすく言えば、だいぶ家が傷んできて建替えなあかん、でもどんな形状の家を建てるのか、間取りをどうするのか、細かいところは何も決まっていけないということ。ぜひ、皆さん、今日持ち帰って資料を見た上で、質問、意見があれば学校あるいは市に言えばよい。今日の説明が最初で最後ではなく、今後も何回でも来てくれると思う。	ご意見として承りました。
今の話に付け加えて、なかなか電話で問い合わせるのはハードルが高いので、メールやホームページからも質問したり、意見を書き込めたりできるようにしてほしい。	今日の資料の最後のページに学校教育課の連絡先を載せています。お電話がかけにくいようならばFAXやメール、またホームページから「市民の声」等で意見することもできます。現在、ホームページもわかりにくいので、整理してわかりやすく発信していきたいと考えています。
2月からこれまでにやってきた説明会でどのような意見が出ていたか、教えてほしい。そして学校だけでなく、これから南部地域をどうしていくのか、「まちづくり」のことを教育委員会だけでなく、市として考えてほしい。	これまでにいただいている主なご意見は大きく4つあります。まず、通学路の安全についてです。校区も広くなり、例えば稲津町から北校（庄内小敷地）まで約2km、子どもの足なら30分以上かかることも想定されます。南校（千成小敷地）は庄本町から約1.6km、大きな道路や線路を超えて通学しなければいけません。稲津町は現在、調整区域ですが、もし学校再編を行えば、北校までの距離と、豊島小までの距離はほとんど変わらないこととなります。今回、調整区域は解消すべきと考えており、稲津町は検討課題の一つですが、できれば「魅力ある学校」（北校）に通ってもらいたい、と胸を張って答えられるような学校をつくりたいと考えています。通学に関連してスクールバスもご質問いただきますが、この構想案を示す際は検討していませ

	んでした。ちなみに、能勢町のささゆり学園は、3km 以上がスクールバスの条件となっています。この件については、年代によってもご意見が異なり、例えば年配の方からは、昔は庄内小学校、庄内中学校だった、それくらいの距離なら十分歩ける、といった声もありました。 次に、教育内容に関するもの、例えば小中一貫教育をなぜ行うのか、小学校同士、中学校同士の統合でよいのではないかと、いったご意見をよくいただいています。また、小中一貫にすると、一部の中学生から小学生が悪い影響を受けるのではないかと、いったご意見もよくいただいています。小中一貫教育により、9 年間を通して小・中学校の教職員、保護者、地域住民等が子どもたちを見守り、育むことができ、文科省の調査でも学習指導面、生活指導面等で成果が認められるとの報告があがっています。特に生活指導面においては、上級生は下級生に対して優しい気持ちで接し、見本となるように意識する、下級生は上級生に憧れの気持ちを抱くといった成果が報告されています。もちろん、小中一貫教育だけで全てが解決するわけではなく、生活・学習支援や地域資源の活用などによって、「魅力ある学校」を作りたいと考えています。 次によくいただくのは、学校が再編されたら、分館等の地域団体も再編されるのではないかと、いったご意見です。基本的に地域活動は市が指導するものではなく、話し合いで、例えば旧小学校区単位での活動を基本としつつ、行事等によっては合同で行うことなどが考えられます。基本スタンスとして、地域団体の意向に沿う形で支援していければと考えています。 最後に、学校跡地がどうなるのか、というご質問をいただきますが、現時点では何も決まっていません。市として、防災、子育て、地域コミュニティなど様々な観点から、組織横断的に市有施設有効活用を検討しています。また、財源確保の観点から跡地の売却等も考えられますが、その場合は特にまちづくりの観点から検討する必要があると考えています。
--	--